



管内の教育

所報 85 号

主な内容

- 1 所長所感「ふるさとが育む生きる力」
- 2 今年度の学校訪問指導を振り返って
- 3 各指定校事業の成果
- 4 来年度の学校訪問指導及び研修会等の予定

出雲教育事務所
令和5年3月

ふるさとが育む生きる力

出雲教育事務所 所長 大場 尚樹

出雲教育事務所の窓から眺める景色にもさわやかな春の光と風が感じられるようになりました。引き続き感染症への留意が必要な状況にあっても、幼児児童生徒の命を守るという大前提のもと、一人ひとりの成長、学びの保障や心身の伸長を目指し、あわせて幼児児童生徒にとって思い出に残るかけがえのない1年となるよう、適切な判断のもと、精一杯の愛情で日々の保育、教育実践を積み重ねていただいた管内各園所小中学校の先生方、職員の皆さま、それを支えていただいた管内市町教育委員会等の皆さまに、心から敬意を表し、深く感謝申しあげます。ありがとうございました。

さて、年度末のこの時期は卒園、卒業のシーズンです。管内の園所、学校でも感動的な卒園式や卒業式が挙行されていることでしょう。私は、中学校教員となって30年以上経ちますが、毎年、卒業式では涙をこらえることができません。「自分は卒業式で泣けなくなったら教員を辞めるときだと思っている」と周りの先生方に言い回って、恥ずかしさを誤魔化してきました。教頭になったときには流石に泣かないだろうと思っていましたが、号泣でした。校長になっても同じですが、それでも卒業証書授与と校長式辞の大役が終わるまでは必死で我慢しました。一人ひとりの名前を読み上げ、顔を見ながら手渡す証書授与は最大のピンチでしたが、何とかこらえたのを覚えています。

校長になったとき、ある先輩校長から「校長は式辞で勝負する。卒業式は子どもたちの晴れ舞台だが、校長の力量と品格も試される。」というお言葉をいただきました。校長式辞をいつまでも覚えている人などいないと解ってはいますが、この言葉のお陰で、卒業式に向けてあれこれと考え悩みました。結局、自分が生徒に伝えたい想いは「ふるさと」に集約されることに辿り着きました。

力量も品格も不十分ですが、その式辞の一部です。

卒業生の皆さんに覚えておいてほしいことがあります。それは「ふるさとを忘れてはならない」ということです。雄大で緑豊かな自然、遺跡等の文化遺産や伝統行事も、すべて君たちの心のふるさと、心の財産であってほしい。また、いろいろなことを教え、温かく見守ってくれた地域の方々、一緒に笑い、汗を流し、苦しみを共にした後輩たち、さらには、いつも寄り添い、励まし、時には叱り、育ててくださった保護者や家族。皆さんを精一杯の愛情で指導してくださった先生方、もちろん隣には、時には衝突もあったでしょうが、いつもそばにいてくれた友だちがいます。皆さんに繋がるすべてのひと・もの・ことがふるさとです。この十五年間、そのふるさとは君たちを甘やかしてばかりではなかったでしょう。時には、きびしく叱る親に反発し、また時には、先生を腹立たしく思ったこともあるでしょう。心配してくれる友だちさえ鬱陶しかったこともあるに違いありません。しかし、あのとき親に叱られたのはこれだった、あのとき先生に言われたのはここだ、友だちがいたから今の自分がある、と気づく日が必ずきます。苦しいとき、悩んだときには、心のふるさとを思い出してください。将来どこに住み、どんな人生を歩もうと、この町で育ち、そして巣立っていく幸せと誇りを忘れることなく、ふるさとに恥ずかしくない生き方をしてください。皆さんの母校は、いつまでもこの場所に凜として建ち、皆さんの活躍を見守り続けています。

島根の教育の重点施策である「ふるさと教育」は、地域の自然、歴史、文化、伝統行事、産業といった教育資源を活かし、学校・家庭・地域が一体となって、ふるさとに誇りを持ち心豊かでたくましい子どもを育むことを目的としています。管内の4市町においても、それぞれの特色を生かしたふるさと教育が展開されていますが、日々の学校生活すべてがふるさと教育なのだと思います。先生方、職員の皆さん、ご家族や地域の方々など、関係の皆さまからのたくさんの愛情が注がれ育った管内の子どもたち。将来、自分の選んだ道へと突き進み、ふるさとへの愛着と誇りを胸に、力強く生き抜いてくれるものと信じています。



今年度の学校訪問指導を振り返って

今年度も様々な学校訪問指導で管内の全小・中学校を訪問させていただきました。学校にご回答いただいたアンケート結果及び訪問時の様子を基に、今年度の学校訪問指導を振り返ります。

グラフ「訪問指導別評価」が示すとおり、訪問した全ての学校から「とてもよかった」「よかった」という肯定的評価をいただきました。この結果から、各学校の期待に概ね応えることができたと受け止めています。

研究推進・教科等指導の充実に向けて

研究推進等を目的とした「⑦研究推進・教科等指導に係る学校訪問指導」は多くの学校から申請があり、89%の学校から「とてもよかった」との評価をいただきました。「授業の指導をしていただくだけでなく、研究内容に即した示唆をいただき、研究を深めることができた。」「校内体制づくりから授業づくりまで多角的に指導していただき、本校の〇〇教育の基盤を整備することができた。」等の感想から、高評価の要因は研究構想・学習指導案の作成・検討や校内研修等各校のニーズに応じた助言・指導、継続的な支援にあると考えています。来年度も引き続き、各校のニーズを踏まえた具体的な助言・指導を行ってまいります。

授業力育成・人材育成の充実に向けて

「③初任者研修に係る学校訪問指導」「④フォローアップ研修に係る学校訪問指導」「⑤教職経験6年目研修・中堅教諭等資質向上研修に係る学校訪問指導」では、教材研究や学習指導案の検討等を協働的に行うことにより、対象者を支えている学校が多く見られました。「本人だけでなく全教員の知見が高まったと思います。」「全教員が授業づくりに関心をもって参加できる良い機会となった。」「専門教科の領域を超えて大変勉強になりました。」等の感想からも、学校訪問指導が校内研修の機会になり、授業力育成や人材育成の一助になったと捉えることができます。今後も授業づくりのねらいや課題研究に沿った助言・指導により、授業力育成や人材育成の充実を図ってまいります。

「②養護教諭、栄養教諭、学校事務職員の職務に係る学校訪問指導」、「⑥講師を対象とした学校訪問指導」は申請がなかったため、来年度は研修の機会としてご活用いただきたいと思います。

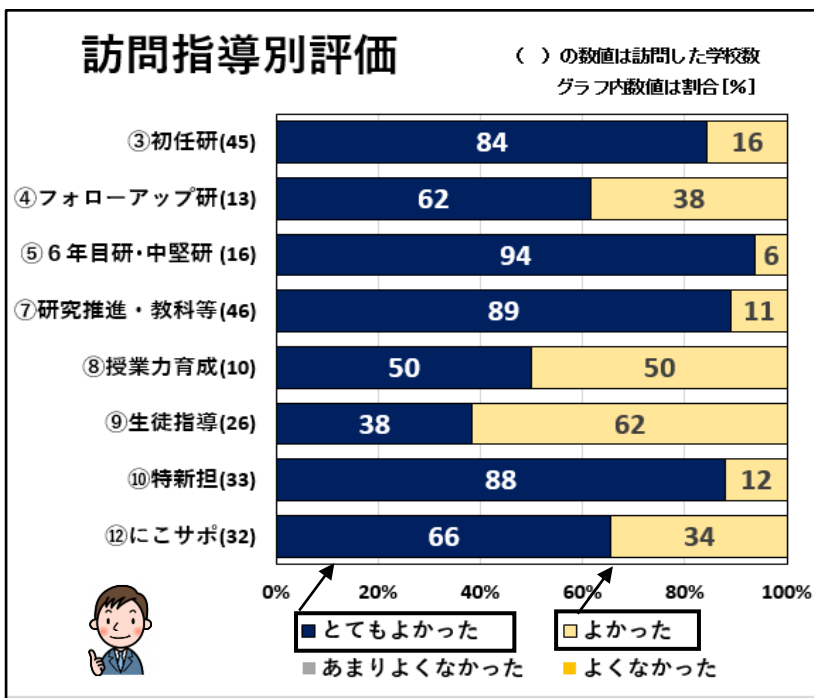
生徒指導の充実に向けて

「⑨生徒指導に係る学校訪問指導」は全ての中学校で実施しました。訪問を通して、各校が様々な取組を工夫している様子が伝わりました。アンケートの上位2項目は「いじめ対応、いじめ防止基本方針を再確認する機会となった。」「生徒指導体制を再確認する機会となった。」でした。今後も、訪問が自校の取組を振り返り、生徒指導体制の一層の充実を図る契機になるよう努めてまいります。

特別支援教育の充実に向けて

「⑩特別支援学級、通級指導教室新任担当教員に係る学校訪問指導」は33校で実施し、88%の学校から「とてもよかった」と高い評価をいただきました。アンケートの上位2項目は「特別支援学級の学級経営や授業づくりの参考になった。」「特別支援教育について理解が深まった。」でした。事前に学校や先生方の困り感やニーズを把握することにより、具体化・焦点化を図った助言・支援につながったと考えています。「⑬特別支援教育専任教員による学校訪問支援」も高評価をいただいているので、引き続きご活用いただきたいと思います。

上記の振り返りを踏まえ、別頁「令和5年度学校訪問指導スローガン・具体的取組」を設定しました。来年度も各訪問の趣旨を踏まえ、有意義な学校訪問指導になるよう努めてまいります。



各指定校事業の成果

「しまねの学力育成プロジェクト」事業

県教育委員会では、「しまねの学力育成推進プラン(R3～6年度)」を策定し、児童生徒に確かな学力と学び続ける意欲を育む教育を推進するために「授業の質の充実」「家庭学習の充実」「地域に関わる学習の充実」を柱とした各種の取組を展開しています。そこで、積極的に本推進プランに取り組みうとする小・中学校をモデル校として指定し、研究成果を全県に普及できるように、新たに「しまねの学力育成プロジェクト」事業(R4～6年度)を立ち上げました。当教育事務所管内では、出雲市立大津小学校・第一中学校と雲南市立大東小学校・大東中学校が指定を受け、所管する各教育委員会が設置する学力育成協議会(仮称)から助言や支援を受けながら推進しています。

出雲市（大津小学校・第一中学校）

(1)「第Ⅲ期出雲市学力向上推進プラン」と連携した実践

出雲市では、学力向上の取組に3つの柱を掲げ、本年度は『主体的・対話的で深い学び』を実現するための授業改善の組織的な推進』を重点に取り組みました。作成した「めあてと振り返りを意識した授業スタンダード」のさらなる活用を図るため、モデル校では授業改善及び組織的な授業改善の在り方を追究しています。

(2)各校実践の様子(□研究主題・本年度の取組)

【大津小学校】

- 問いを持ち、仲間とともに、探求し続ける子どもの育成～子どもの声をつなぐ授業づくりをとおして～
- ・これまでの研究成果である“子どもが問いを持ち、追究し続けるための発問の質”や“子どもの声でつくる授業を展開するための教師のコーディネート力”をさらに高めるために、授業公開や研修会を通して実践を積み重ねてきました。

【第一中学校】

- 主体的に課題を見つけ、互いに高め合いながら、自ら考え行動する生徒の育成
- ・学力調査結果から、各教科の重点的な取組を“意見や思いを表現する活動の充実”とし、ゴールを明確にした指導計画を立て各教科の資質・能力の育成を図っています。11月に各教科一斉に授業公開を実施するなど、組織的な授業改善に努めています。

雲南市（大東小学校・大東中学校）

(1)「学力向上のための基本方針」

雲南市では、授業力向上を軸に家庭・地域との連携、キャリア教育での実践、教員育成を柱とした4つの柱で学力向上を図っています。本年度は島根県立大学教授である齋藤一弥氏を招聘し、市全体での「能力ベースの授業づくり」について学び、その具現化について検討を重ねながら各モデル校で実践を行いました。

(2)各校実践の様子(□研究主題・本年度の取組)

【大東小学校】

- ICT機器の効果的な活用による授業改善～ICT機器活用能力の向上と授業でのICT機器活用の日常化
- ・これまでの研究をもとに、「能力ベース」を意識した授業づくりに資するICT機器の活用と、互いの考えを伝え合う取組を軸にして取り組んでいます。また、専門家による理科授業や観点別到達度を測る学力検査を使って個別指導等の在り方も追究しています。

【大東中学校】

- 互いを認め合い、協働して学ぶ生徒の育成～「共に深く学ぶ授業づくり」を通して～
- ・“各教科の到達目標を意識した授業改善”を図るため、主体的に学ぶための課題(問い)とめあての設定やまとめで確認する意義について再確認を図りました。また、資質・能力を育む協同的な学びの在り方について各研究授業での実践から検証を重ねています。

令和4・5年度 島根県人権教育研究指定校事業（雲南市立加茂中学校）

本事業は、人権意識を培うための学校教育の在り方について、幅広い観点から実践的な研究を行い、人権教育に関する指導方法等の改善及び充実をめざしています。

(1)研究主題

「つながりあい、ともに成長しようとする生徒の育成」
～人間関係づくり、集団づくりをとおして～

(2)研究主題について

人権感覚を育てるとともに、人との望ましいかかわりあいを通して自分を素直に表現し、ともに困難に立ち向かう力の育成をめざす。全教育活動をとおした計画的な人間関係づくりや集団づくりを基に、生徒の多様な見方・考え方を育て、互いに自己肯定感を高めていくことができるようにし、人権に関する知的理解と人権感覚をバランスよく育成する。

(3)研究仮説と主な研究内容

【集団づくり】

生徒が主体的に他者や集団とかかわる中で、互いを認め合い、一人一人が達成感や充実感、連帯感を味わう活動を充実させれば、人との望ましいかかわりを身につけ、つながりあい、ともに成長しようとする生徒が育つであろう。

- ◆基盤となる学年・学級集団づくり ◆異学年交流
- ◆人権意識を高める教職員集団づくり ◆教育環境づくり

【授業づくり】

一人一人がわかる喜びを実感し、協働的な活動を通して励まし、認め合う場面を多く取り入れれば、自分に自信をもって自分の意見を表現し、つながりあい、ともに成長しようとする生徒が育つであろう。

- ◆主体的に学び、わかる喜びを実感できる授業の工夫
- ◆励ましと認め合う場面を取り入れた授業づくり
- ◆人権に関する知的理解を深め、人権感覚を育成する授業実践

【地域との連携】

学校と家庭、地域が連携し、いろいろな人と交流を深める活動を充実させれば、達成感や自己有用感をともなう自己肯定感が高まり、つながりあい、ともに成長しようとする生徒が育つであろう。

- ◆家庭との連携 ◆こ・保・小・中の連携
- ◆地域社会との連携

令和5年度 出雲教育事務所学校訪問指導について

1 令和5年度学校訪問指導スローガン

『学校教育の魅力化を推進する学校訪問指導の充実』

授業力育成	○「各教科等の指導の重点」等を柱とした授業づくりの支援 ○キャリアステージに応じた授業力育成と人材育成への支援
生徒指導	○「生徒指導充実のための4つの視点」を生かした授業づくり支援 ○「次へのヒントが見つかるケース会議」の周知と取組への支援
特別支援教育	○一人一人の教育的ニーズに応じた授業づくり・配慮の支援 ○特別支援教育に関する教職員の専門性の向上
幼小連携・接続	○幼児期の育ちを円滑に繋ぐ、充実した幼・小の接続期への支援

2 令和5年度学校訪問指導の具体的取組

(1) 授業力育成に係る学校訪問指導

- 「各教科等の指導の重点」に挙げられたポイントに沿った助言・指導を行う。
- 「授業チェックリスト」を活用した授業づくりと、授業と家庭学習が繋がる取組の周知を図る。

(2) 初任者研修及び相談型学校訪問指導

研修対象者への計画的な継続指導や助言を実施するとともに、ニーズに応じて各機関と連携した人材育成に関する支援を行う。

(3) 生徒指導に係る学校訪問指導

- 管内すべての中学校に計画的な訪問指導を行い、生徒指導の充実を図る。
- 希望する小学校に対して、学校や学級担任等のニーズに応じた支援を行う。

(4) 特別支援教育に係る学校訪問指導

- 通常の学級、通級指導教室、特別支援学級での授業力の向上をめざした助言・指導を行う。
- 個に応じた配慮や理解教育等の相談や研修を実施する。
- 校内の支援体制の充実への助言・指導を行う。

(5) 幼小連携・接続に係る学校等への訪問指導

幼児教育センターと連携を図り、幼小連携・接続に係る推進体制づくりや接続期のカリキュラム作成等の相談及び研修を実施する。

来年度の行事予定表に入れておいてください。

島根県教育委員会による研修会等の予定

研修会等	会場等	期日
教育施策説明会（小・中学校校長対象）	オンデマンド型	令和5年5月下旬～6月上旬での視聴を予定
生徒指導主任・主事等研修	出雲合同庁舎	〃 5月31日（水）
人権教育担当主任等研修	出雲合同庁舎	〃 6月20日（火）
小・中学校等校長学校経営実践研修	オンライン	〃 6月28日（水）
小・中学校等教頭学校運営実践研修	オンライン	〃 10月18日（水）
小・中学校「総合的な学習の時間」研修	出雲合同庁舎	〃 11月28日（火）出雲市 11月29日（水）雲南市, 奥出雲町, 飯南町

※上表は、現時点で予定する令和5年度の悉皆研修の内容です。